

二十世紀の締めもいつものやつで!

OB会長のご挨拶

高梨 伸彰 (S52年入学)

ここ数年暖冬が続き、気象庁の暖冬判断基準である平年気温の基準値が高めに改定される中、LGOB/OGの皆様はいかがお過ごしでしょうか。毎年恒例、いよいよロスガラチエーロスの定期演奏会とOB総会の季節がやってきました。今年の現役は特に演奏に注力し、練習もかなりがんばって準備をすすめている模様です。また、若手のOB/OGバンドも趣向を凝らして練習しているようでもあります。乞うご期待! 定演のあとは我々の定宴です。あ、宴会ではなくって、OB総会ですね。今世紀最後ですね。そして、今の税率で酒が飲める最後の機会かも.... ああ、やっぱり「宴」の一字が離れない.... f(^^)

本号では久しぶりにOB会名簿を更新して同封致しました。近くの代の方々や昔の仲間など、連絡を取ってお誘いあわせの上、定演と総会の会場にお越し下さい。さて、2年間OB会長を務めて参りましたが、今回の総会を以って次期会長にバトンタッチ致します。いろいろと相談にのっていただいたOB/OGの皆様、幹事の方々、ありがとうございました。そして、今回改選の栗原・倉持両幹事、お疲れさまでした。これからも花見や演奏会などで皆さんにお目にかかることもあろうかとは思いますが、その節はよろしくお願ひ致します。お別れは、先日米国に出張した際に知り合ったバンドリーダーの言葉をお借りして、Keep Smiling!では。

<OB総会のご案内>

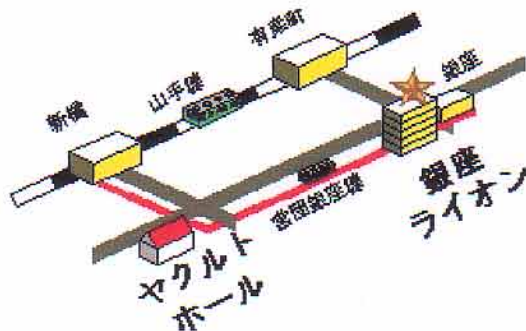
月日の経つのは早いものでもう12月ですよ。「定演&OB総会の季節か〜」とフトンにくるまっているしみじみしている「あなた」! そう「あなた」ですよ! さあ、フトンをあげてパンツもあげてさあ出かけましょう。新橋で乱舞する若者たちの熱いパフォーマンスを楽しみに。そして、一直線に向かうは、「銀座ライオン」。二十世紀の締めはやっぱりいつものやつで参りましょう。

日時： 12/16 (土) 20:30~22:30

場所： 銀座ライオン5丁目店

9F スターホール

会費： 5,000円



ロスガラ上海進出

昨今の中国(中国地方ではない。ここでは国名を指す。)経済の進展ぶりには目をみはるものがある。これからのアジア経済、世界経済は中国抜きには語れないということは、我がOB会諸氏には言わずもがなである。我々ロスガラOB会としては、この時代の潮流に乗り遅れる訳にはいかないということで、数年前から北京に優秀な秘密情報部員を一名送り込んでいる。彼のコードネームは「'87KBT」である(数値は入学年度を表す)。彼は電力事業の業務を遂行するという表の顔を利用しOB会に費用負担を求めることなく、現地侵入を果たしている。秀逸の人材である。

'87KBTはコミュニケーションツールとしての中国言語の習得をほぼ完了し、「機は熟した」と判断したのであろう。今秋、OB会に対して特別偵察隊の派遣を要請してきた。そこで、我々は特別に優れた芸風を有するメンバーを厳選し現地に送り込むことにした。カプリソーネをこよなく愛する'86IKD、肉体(団)派の'86CTN、'89UN、比類なきMC実績をほこる'88FJI、ちっちゃいけど'88YSN、般若信教の'88KRIである。勿論かれらとて、スパイであることにはかわりはない。ポンドガールは不可欠である。そこでロス妻数名を同行させた。そのなかに「最強のロス妻」を自称する'89MUMがいたのは言うまでもない。10月某日一行は一路上海に向かったのであった。

一行の目的はただ一つ。「LGの上海進出のKeyとなる人物を探し出し洗脳するのだ。」一行は上海の町を歩きに歩いた。上海の町はすごかった。まさに建築ラッシュである。林立するビルの間には縦横無尽に通りが張り巡らされている。通りは自転車であらめつくされ、信号を無視しながら車と先を争っている。町には得体の知れない漢方薬やらマネキンの首やらを扱う店が建ち並んでいる(本場で「中華面」は扱われていないようだ)。食べ物は上手い。この町を歩いていると人民の熱い魂とPowerがヒシヒシと伝わってくる。一行は何となくではあるがLG的波調の人物を探し出せる自信を深めていた。しかし、気がついた時にはすでに夜が近づき、万歩計の数字も35,000を越え、体力の限界が近づいていた。時間がない。もう諦めるしかないのか?! 傷心の思いで一行はホテルに引き返したのであった。

そんな敗北感に打ちひしがれる一行の目に奇妙な掲示が留まった。

喜喜 白石 恭章 先生
陳 莉萍 小姐

「ふん〜 国際結婚か〜」と思いつつ、ふと会場に目をむけると、そこにいるのは紛れも無く『'86SRIS (Good SRIS)』ではないか! 一行は驚愕し'86SRISに詰め寄り、事の真相を追究した。そう'86SRISは上海の女性と結婚したのだ。これは事実なのだ。一行は歓喜の雄叫びをあげた。そうだ! 遂に目的を達したのだ。

かくして我々は上海進出の糸口を手にした訳である。

莉萍女氏は今後ロス妻としてまたOB会国際交流上級委員(中国担当)としてのご活躍を期待し、「抱負」を語って頂いた(ロス妻覧へ行く→)。

現役活動紹介

現役マネージャー 川島 朋子 さん(H10年入学)

今年の工大祭は例年の10月10日くらいの日程から2週間以上遅い10月28・29日に行われました。

工大祭前日準備の日の朝、前の晩ラッパ隊で飲みに行つてつぶされた、という工大祭係が、工大祭当日を前にすでに衰弱していたのですが前の晩帰宅できなかったことによる、計画のつめの甘さや携帯電話の電池切れも彼の持ち前の明るさと皆の協力で乗り切り、どうにか本番を迎えられました。

今年のH109ステージ参加バンドの特徴は、現役(C・D・E・F年)の企画ビッグバンドが多かったこと(計4つ)だと思います。普段、一緒にやっている仲間が、ロスガラの枠にとらわれない演奏をしている姿を見るのは、なかなか興味深いものでした。

C年だけで編成されたビッグバンドもあり、笑顔はじける、若さあふれるステージを見せてくれました。誰もが敬遠する日曜の朝に集合して練習を重ねていた彼らに頼もしさを感じましたが、C年バンドの声かけ・コンマスを務めたM手がC年バンド本番を観にきた学科の友達に「溝手! 英語でろよー!」「英語来いよー!」と熱いヤジを受けているのを聞き、一抹以上の不安が残りました。レギュラーのステージでは、山野で演奏した曲(タイト・ブエンテのマチート・フォーエヴァー、チョコ・オファリルのトランペットファンタジー)に加え、熱帯ジャズ楽団の曲、その他、サンバやファンクにも挑戦しました。休日をつぶして観に来てくださったOB・OGの方たちの力(異様なテンション?)によってステージも盛り上がり、楽しかったです。ありがとうございました。

また例年より涼しい時期の工大祭なので心配していましたが、ビールは期待どおりの売れ行きでした。こちらも重ねてありがとうございました。



定期演奏会のご案内

「名曲がしみじみと心にしみ入る季節となりました…」の
新名文句と共に現役諸氏から定期演奏会の案内が
送られて来ているかと思えます。この十数年定演＝仮
装でありましたが、今年は休業とのことです。現役諸氏
も何か新たな企てをしているようです。定演の新展開を
目撃しに、ぜひ遊びに行こうではありませんか。

現役さんからひとこと

年末の恒例行事となっていた定期演奏会の仮装で
すが、今年は休業します。仮装大賞のプライズを用意
したりして楽しみにされていたOB・OGのみなさま、す
みません！今度の定演では、3部に「本日の目玉商
品」を持っていきます。これで「あはっ！」って笑って
もらえれば幸いです。

第34回定期ロスガラチェロス演奏会

日時：2000年12月16日(土)

場所：新橋ヤクルトホール

開演：17:00～

シリーズ

ロスガラの妻たち

高塚 創 さんの妻、順子さんの場合

はじめまして、約3カ月前の9月16日に高塚創と結婚
した高塚順子(旧姓:藤井)と申します。披露宴、披露パ
ーティーにご出席の皆様、本当にありがとうございます。
た！学生時代「保健体育」を得意教科としていた主人も、
感謝感激していました(笑)。

それでは、僭越ながら、自己紹介と近況報告から始め
たいと思います。私は、生まれも育ちも香川県、生粋の
「さぬきっこ」です。「おじやる丸」をこよなく愛し、「まっ
たり人生」をモットーに、時折、お茶・お花・書道・ジャズの
練習をしながら、味わい深い生活を営んでおります。
特技は、寝ること。独身時代は、母親に「いつまで寝て
るの。いいかげんにしなさい。」と叱られておりました。「寝
る子は育つ」って言葉があるやろ。「大器晩成」なんだから、
今は寝てもいいの。」と喧嘩を売り、ますます叱ら
れる始末。しぶしぶ起きていたことを思い出します。現在
は、某短期大学に勤務し、日進月歩厚くなる(「あんたは、
花魁か?」と言いたくなるような)厚底ブーツを履き、パソ
コン操作は苦手なのに、ケータイの操作は超一流という
不思議な生き物を相手にしております。ご高齢の教員に
は、カラフルな髪とメイクを施した彼女達の言語が難解
のようで、時には、彼女達の日本語を、再度、日本語に
翻訳(?)するという役目も仰せつかっております。

つぎに、主人に洗脳され嗜むようになったジャズにつ
いて話します。現在2人で、KSJO(Kagawa Student Jazz
Orchestra)なるバンドに所属し、それぞれドラムとピアノ

を担当しております。小学生の時にピアノを習っていたく
らいだったので、初めてジャズの楽譜を見たときは、チョ
ーびっくりしました。おたまじゃくしではなく、アルファベ
ットのような暗号のみが記入されていて、「なんだこり
ゃ?」が第一声でした。こんな私でも、周りの方々のご協
力によって、昨年は、香川県芸術フェスティバルで
「Corner Pocket」を、今年は「And That's That」を演奏
しました。披露宴と披露パーティーでは、2人で「On the
Sunny Side of the Street」を披露しちゃいました。(恥ず
かし〜い。)おじいちゃんやおばあちゃんになっても、
「ご老体バンド」として演奏したいと思っています。

最後になりましたが、最近、私が悩んでいることを2つ、
お話したいと思います。1つ目は、私自身のことです。2
時間のサスペンスが大好きな私は、独身時代、欠か
さず見ておりました。その甲斐あってか、開始後30分以
内にストーリーの概略と犯人が分かることがあります。
(時には、新聞のテレビ欄のキャストを見ただけで、犯人
が分かります。)2時間後に、当たっていたことが分かっ
た時のうれしさといったら、か・く・べ・つです。でも、結婚
後は、サスペンスの時間帯に諸々の家事をすることが多
く、集中して見るができなくなりました。そのため、悲
しいことに、これまで培ってきた「推察力」が衰えている
のです。2時間のサスペンスを集中して見るができる
ように、どうやって、家事の手抜きを行えばよいのか、悩
んでいます。2つ目は、主人のことです。主人は、金曜
の夜(12時頃)に、「愛人の掟」というドラマを神妙な面も
ちで見ているのです。ドラマは、既婚の石黒賢が、水野
真紀扮する愛人と純名理沙扮する本妻との間で揺れ動
く姿(ほとんど泥沼状態)を描いていて、ほとんど、昼メロ
のようなストーリー展開です。見ている姿は、あたかも、
石黒賢に感情移入をしているような…。一度でいいから、
水野真紀のような愛人と純名理沙のような本妻の間で揺
れてみたいと思っているのでしょうか。ちょっと心配な、
今日この頃です。

それでは、皆様、今後とも、どうぞよろしくお願いいたし
ます。ではでは。



白石 恭章さんの妻、莉萍さんの場合

大家好，我是莉萍，能认识你们我感到非常高兴。十月二十八日我和白石在上海举行了结婚仪式并邀请他一起来到了日本，开始了我们的新生活。

我先生为了让我能先适应日本的生活，并介绍他的家人和朋友给我认识，所以在我们的婚礼之前我已经在日本生活了一个月，对日本有了初步的了解。

其实，日本对我来说不算陌生，因为在上海无论是从电视还是报刊杂志上都看到到日本的情况，日本和中国并不遥远，而且生活习惯上也有很多相似之处。当然，在我来到日本之后才觉得真是百闻不如一见啊！我们的新居在横滨市，城市非常干净，空气清新，到处可见花草树木和自由飞翔的鸟儿，景象是个大花园。

日本真可谓是个时代先锋，许多新生事物在这里诞生，日本也是一个融合全世界各国文化和艺术的国家，这一点在年青人的身上特别能体现出来，他们是如此大胆地展现自我风格，希望与众不同。然而，我们中国的年青人在这一点上似乎还表现的要含蓄些了，也许我们都是亚洲人的原因吧。日本的音乐、歌曲在中国都相当的流行，日本也是某些年青人的偶像，当然我也是其中之一，我喜欢日本，想更多地了解日本，这可能也是我和白石结合的一个原因吧。

说到最爱的音乐，我早就知道我先生是个爵士乐爱好者，并且从大学起就有一支自己的乐队，可惜的是，虽然我也是个音乐爱好者，但对爵士乐却实在是了解甚少，在此我很难谈出我对这类音乐的观点。听说你们的乐队多次在朋友的婚礼上演奏过，遗憾的是却未能能在我们的婚礼上表演，我真得很想亲自来感受一下你们的风采，今后有机会和你们在一起时一定让我多了解了解爵士乐好吗？希望能与你们共同享受这美妙音乐带给你们的快乐吧。

在日本难得的一个月中，给我留下印象最深的是，无论是我先生的家人还是朋友，每个人都对我非常的亲切，让我感觉就像是在自己的家中，没有陌生感，在异国他乡能得到大家如此的关注和照顾，我深深感受到。

初来日本的经验不多，今后有许多地方还请大家多多指教，谢谢大家！

皆さんこんにちは！莉萍（リーピン）と申します。皆さんとお知り合いになれてとても嬉しいです。10月28日に私はダーリン（白石恭章先生）と上海で結婚式を挙げ、その後一緒に日本へ来てLoveLove新婚生活を始めました。私は結婚式を挙げる前に日本で1ヶ月ほど暮らしました。ダーリンが私を日本の生活に慣らすため、そして彼の家族や友人を紹介するために呼んでくれたのです。おかげで日本のごく初歩的なことなら理解出来たつもりです。実は、日本は私にとっては何も知らなかったところではありませんでした。というのも上海ではテレビや雑誌を通じてある程度日本の状況を知る事が出来るからです。日本と中国は決して遙かに遠いわけではなく、しかも風俗習慣も似ているところがたくさんあります。とは言いつながら、日本へ来て「百聞は一見に如かず！」を実感したことは言うまでもありません。私たちのLove Nestは横浜ですが、街はとてもきれいで、空気も新鮮、どこに行っても緑や鳥を見ることができ、まるで大きな公園にいる様です。日本はまさしく流行の先端を走っている国と言え、たくさんのトレンドがここで誕生しています。日本もまた世界各国の文化・芸術を融合した国の一つで、その様子は特に若い人の間に現れていると感じます。若い人は自分の考えや態度を大胆に表現し、みんなとは違う個性を持つようとしています。一方、私たち中国の若者はどちらかというところを表に出さないような気がします。そのような違いがありながらもやはり私達はどちらもアジア人だからという理由でしょうか、日本の音楽、歌は中国でもかなり人気が出るし、日本のドラマも若者に人気があります。当然私もその中の一人であり、日本が好きで、日本をもっと知りたい、そう思ったことが私とダーリンが結合した（笑！）一つの原因でもあります。好きな音楽といえば、ダーリンがジャズ好きで、大学から自分たちのバンドを持っているということは出会った頃から知っていました。私も音楽は大好きなのですが、残念ながらジャズは良く知らないの、ジャズについてお話しするのはちょっと難しいです。聞くところによると皆さんはこれまで何回も友人の結婚の時に演奏したことがあるということですが、私たちの式の時に演奏を見ることができなかったのはとても残念です。皆さんの演奏をこの目で見てみたいと節に願っています。今後皆さんと一緒にできる機会には私にジャズの良さを教えて欲しいと思っています。いかがでしょうか？皆さんと共にこの音楽の持つ不思議な心地良さを味わってみたいと願っています。日本で生活した1ヶ月の間で、ダーリンの家族も友人もみんな私にとっても親切で思いやりがある事が、深く印象に残りました。おかげでまるで自分の家にいるようで、異国にいるような感覚はありませんでした。みなさんからこのように良くして頂いて、とても光栄に思っています。まだ日本での経験が浅いので、これからいろいろな面でみなさんのお世話になるとは思いますが、どうぞよろしくお願ひいたしました。ありがとうございました。



OB 会からのお知らせ

編集後記

2000 年は“ミレニアム”で大騒ぎしてましたが、2001 年は“21 世紀”ということで盛り上がるのかな～？あんまり騒がれない感じがしますね。神奈川県川崎市はミレニアムの10倍以上の予算を設けて盛大にやるらしいです。今年の正月は川崎かな？それでは川崎大師で会いましょう。